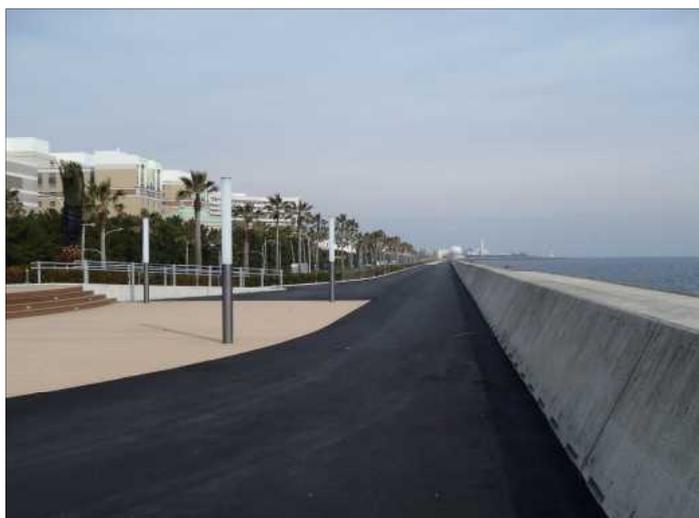


CHIBAちば

千葉県の県土整備

2011



安全と親水を両立させた海岸の整備 浦安海岸 (浦安市)



人々が憩う水辺が復活した坂川 (松戸市)



がけ崩れから身を守る施設の整備 (いすみ市)

千葉県県土整備部

目 次

| | |
|----------------------------|-----|
| 県土整備部の施策方針 | 1 |
| 県土整備部予算の概要 | 3 |
| 第1 道路 | 4 |
| 第2 河川 | 24 |
| 第3 海岸 | 35 |
| 第4 砂防 | 39 |
| 第5 港湾 | 44 |
| 第6 都市計画 | 52 |
| 第7 公園 | 63 |
| 第8 下水道 | 70 |
| 第9 市街地の整備・開発 | 74 |
| 第10 建築 | 80 |
| 第11 住宅 | 86 |
| 第12 景観・まちづくり | 90 |
| 第13 建設・不動産 | 93 |
| 第14 技術管理 | 99 |
| 第15 用地 | 101 |
| 第16 営繕・施設改修 | 104 |
| 第17 災害復旧 | 106 |
| 第18 資料 | |
| 1 県土整備部機構図 | 107 |
| 2 県土整備部出先機関（主要業務、所管区域、所在地） | 108 |
| 3 県土整備部職員現員表 | 109 |
| 4 県土整備部組織の変遷 | 110 |
| 5 平成22年度主要日誌 | 113 |
| 6 社会資本整備のあゆみ | 114 |

本書（第1 道路～第17 災害復旧まで）は、平成22年度の
県土整備部の事業実績を中心に各種施策への取組の状況を記載し
ています。

県土整備部の施策方針

平成23年度 主要施策概要

平成23年度は、総合計画「輝け！ちば元気プラン」の2年目となりますが、昨年度に引き続き、総合計画の基本理念である「暮らし満足度日本一」の実現に向けて、「安全で豊かな暮らしの実現」と「経済の活性化と交流基盤の強化」の2つの基本目標の下に、県土整備に係る施策を展開しています。

| 基本目標 | 政策分野 | 施策項目 | 主な取組 |
|-----------------------|------------------|----------------------|---|
| 安全で豊かな暮らしの実現 | 安全で安心して暮らせる社会づくり | 災害に強い県づくりの推進 | 災害に強い社会資本整備 建築物・宅地の地震対策の推進 県有建築物の耐震化の推進 |
| | | 交通安全県ちばの確立 | 交通安全環境の整備 |
| | みんなで守り育てる環境づくり | 地球温暖化対策の推進 | 森林などによる二酸化炭素吸収源の確保 |
| | | 資源循環型社会の構築 | 再資源化に向けた県の取組の推進 |
| | | 豊かな自然環境と良好な大気・水環境の保全 | 良好な水環境・地質環境の保全 三番瀬の再生 |
| | 経済の活性化と交流基盤の強化 | 千葉の輝く魅力づくり | 千葉の飛躍拠点である成田国際空港の機能拡充 |
| 東京湾アクアラインによるポテンシャルの開花 | | | アクアライン着岸地における拠点地域の整備促進 アクアライン関連道路網の整備推進 |
| 活力ある交流拠点都市・基盤づくり | | 交流拠点都市の形成 | 成田国際空港都市づくり 柏・流山地域における大学と地域が連携したまちづくり 新たな産業と文化の発信拠点としての幕張新都心の整備 |
| | | 交流基盤の強化 | 広域間交流を支える道路の整備 地域間交流を支える道路の整備 港湾の整備・振興 |
| | | 県土の基盤の充実 | 市街地における円滑な交通環境の推進 既存施設の維持管理と長寿命化 社会資本の有効活用 区画整理・再開発による市街地の整備 |
| | | 人にやさしく美しいまちづくりの推進 | 時代の変化に対応したまちづくりの推進 だれもが安心して快適に暮らせるまちづくり 環境に配慮した道づくり 豊かな河川環境の整備と保全 県立都市公園の整備と都市の緑の保全・創出 良好な景観形成の推進 下水道整備の推進及び公共下水道の着手に向けた支援 豊かな住生活の実現 |

東日本大震災への対応

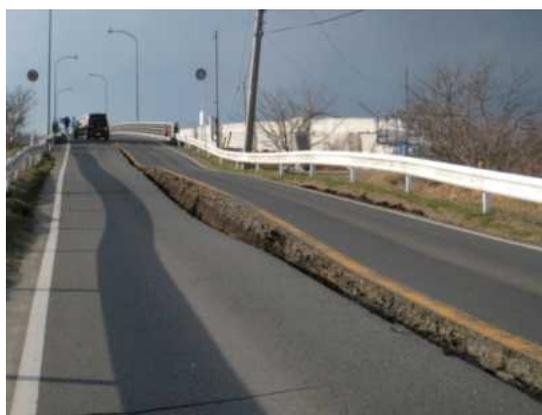
平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、旭市を中心とした太平洋沿岸部においては津波により多数の家屋が倒壊し、また、東京湾岸の埋立地や利根川沿いの低地においては液状化現象の発生により住宅が傾斜・沈下し、上下水道等のライフラインが寸断されるなど、県内各地で非常に大きな被害を受けました。

県土整備部では、地震発生直後から、部内に震災対策会議を立ち上げ、パトロール等により公共土木施設の被害状況を把握するとともに、道路の通行止めなどの安全対策や被害箇所の応急工事などを行い、公共土木施設の機能回復に努めてきました。

また、被災者への生活支援として、住宅を失った県内被災者のために、旭市に200戸、香取市に30戸の応急仮設住宅を建設するとともに、県外被災者に対しても、県営住宅や県職員住宅の空き家などを活用して住宅を提供しています。

被災地域の復興には、道路、河川などの社会基盤の本格的な復旧が急務となることから、一日も早い災害復旧事業の完了に努めていきます。

(県内公共土木施設の被災状況)



国道464号(成田市)



小野川(香取市)



県道西浦安停車場線(浦安市)



名洗港 銚子マリーナ(銚子市)

県土整備部予算の概要

平成23年度 県土整備部予算の概要

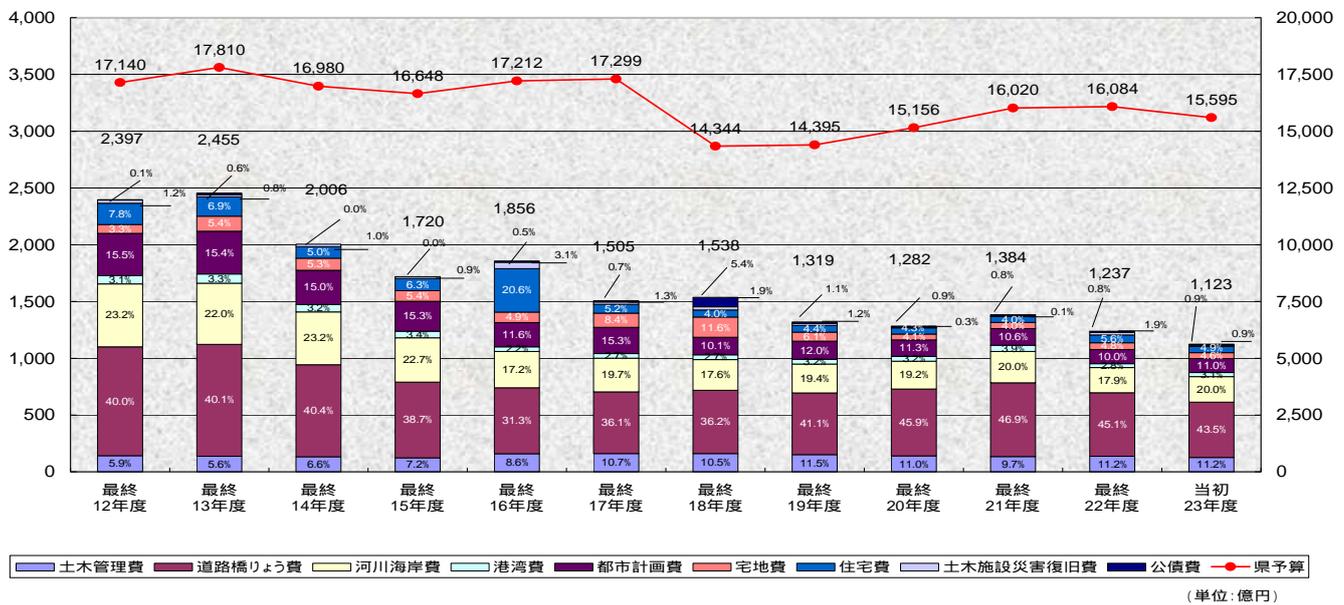
平成23年度の県土整備関係予算は、一般会計で総額約1,123億円となり、前年度に比べ金額では約47億円、率にして4.0%の減となっています。

これは、国の公共事業関係費の削減が大きく影響しています。

また、県予算全体からみると県土整備関係予算の占める割合は7.2%となっています。

県予算に対する県土整備部予算の割合（一般会計）
（単位：千円）

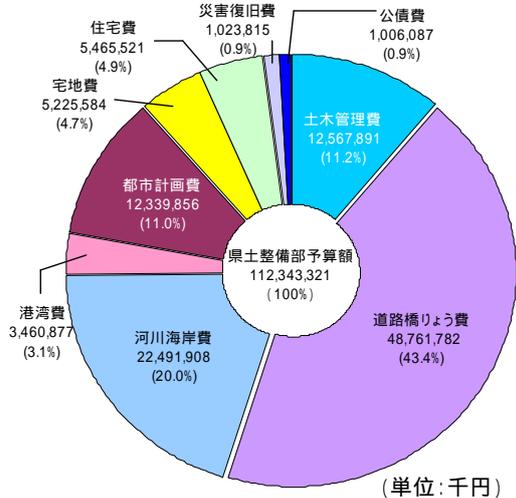
| 区分 | 県予算総額 | 県土整備部予算 | 比率 |
|----------|---------------|-------------|------|
| 予算額 (A) | 1,559,471,379 | 112,343,321 | 7.2% |
| 前年度当初(B) | 1,533,483,318 | 117,074,880 | 7.6% |
| 前年度最終(C) | 1,608,430,579 | 123,657,866 | 7.7% |
| (A)/(B) | 1.017 | 0.960 | - |
| (A)/(C) | 0.970 | 0.909 | - |



県予算と県土整備部予算（一般会計）

15年度までの数値は、県土整備部の組織に置き換えて算出しています。

事業別構成（一般会計）



性質別構成（一般会計）

